

## 第9回： 水環境の豊かさと水循環

開催日： 2000年8月25日 / 会場： 「北とびあ・飛鳥ホール」

開催趣旨： 資源・エネルギー多消費型社会から持続可能な社会へ変わりつつある現在、水環境を考えるには持続可能な資源である水の循環にこれまで以上に注目する必要があります。砂漠化、酸性雨から異常渇水、生活排水による水質汚濁、地下水汚染、ヒートアイランド現象など、地球レベルから地域レベルの水環境問題が数多く発生しています。これらの大部分は人間活動によって健全な水の循環系が損なわれてきたことに原因があり、水環境問題を水の循環を無視して考えることはできません。そこで、水循環と水環境との関係を知り、地球レベル、行政レベルだけでなく、個人レベルで水環境の保全のために何をなすべきかについて考えるセミナーを企画しました。

講演タイトル（講師／所属（当時））：

### ○ 水の循環—動いている水（田中正／筑波大・地球科学）

地表付近の水循環について解説する。日本のような自然環境では、地下水は最も重要な水循環系の一部を構成し、地下水の涵養→流動→流出の空間分布に関する認識が、環境保全・土地利用・水利用において重要であることを論じる。

### ○ 水資源の確保 — 水を貯える・育む（河村明／九大院・環境システム科学研セ）

水資源の確保と渇水について、主に福岡市を例に概説する。福岡市では、渇水の対処法として、小規模な水資源開発や節水型都市づくりの成果やその問題点についても解説する。

### ○ 水質の保全・向上 — 水を汚さない・きれいにする（小倉紀雄／東農工大・農）

水循環と人間活動、流域における汚濁の発生源とその制御について述べるとともに、様々な指標による水循環の総合的な評価、河川環境の保全と修復の研究、市民による水環境の保全と修復の試みや、市民環境科学の発展と推進について解説した。

### ○ 水の保全 — 水と親しむ（山室真澄／通産省・工技院）

食物連鎖を通じて漁獲等によって湖沼から汚染物質を除去することによる水質浄化効果を解説する。一方、この生態系による浄化機能の発現は、有害化学物質汚染や、水質浄化対策としての浚渫など浅い水域の底質改変がマイナスの要因となることについて論じる。

### ○ 暮らしの中の水環境保全 — 水を守る（村瀬誠／墨田区役所）

日々の暮らしは水環境に何らかの環境負荷を与えている。出来るだけ環境負荷をかけないで、いかに水とうまく付き合うかについて、墨田区で雨水利用に取り組んで18年の実践を踏まえて論じる。